

千田智明ちだ・ともあき
28代校長

141年の歴史に終止符が打たれた。学校行事をはじめ地域の皆さんとの触れ合いなど、さまざまな思い出がいっぱい。4月からは東山小学校として新たな未来への旅立ちを迎える。長坂小学校としての自信と誇りを持って、新しい学校でも頑張らせてほしい。

●校長・千田智明／●児童数・183人／●所在地・東山町長坂字東本町12／●創立・明治6年／●教育目標・思いやりの心を持ち、自分で考え、進んで行う子ども



高橋澄羽たかはし・とうわ
児童会長

これまで楽しく過ごし、思い出の多い長坂小学校がなくなるのはとても悲しい。後輩の皆さんには、東山小学校でも自信を持って活躍してほしい。私たちの学年が、伝統ある小学校最後の卒業生となる。最後の児童会長としての誇りを胸に刻み、これからも頑張りたい。



菅原晃弘すがわら・あきひろ
PTA会長

私の親、自分、子供が通ってきた小学校がなくなってしまうのはとても寂しいです。年々、子供たちの成長過程において必要な「人のかかわり」が減っているように思えます。3校が統合で、それぞれの地域とのつながりがいっそう強くなることに期待したい。



鈴木英一すずき・えいち
閉校記念事業実行委員長

閉校は寂しいことですが、統合はとてもいいことだと思います。たくさん仲間と切磋琢磨しながら、成長してほしい。一方で、少子高齢化問題は解決しません。これからも、たくさん子供たちの笑顔があふれる地域をつくらせていきたい。



及川徹おいかわ・とる
30代校長

都市化が進む中で「おらほの学校」田河津小には、地域振興が根付いています。これからも地域行事に参加し、より強いつながりを作りたい。校歌にある、素直な気持ちやこつこつ積み重ねる努力をする「田河津小スピリット」で、自分らしく歩んでいくことと信じています。

●校長・及川徹／●児童数・58人／●所在地・田河津字石ノ森16-8／●創立・明治6年／●教育目標・徳・知・体の調和のとれた人間形成の基礎を培う教育を推進する「よさを生かし、高め合う子ども」



中村天駿なかむら・てんま
児童会長

最後の1年は、とても忙しく大変でしたが、みんなをまとめる楽しさを学びました。いつも遊んでいた校庭に、後輩のみんながいなくなるとさびしい。東山小に通う後輩の皆さんには、田河津小自慢の伝統・あいさつ運動を受け継ぎながら、新しい歴史を刻んでほしい。



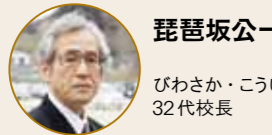
菅原聡すがわら・さとし
PTA会長

地域から子供たちの声が消えることは寂しいですが、統合には理由があります。いろいろな仲間の中で、さまざまな価値観を築いてほしいですね。子供たちは、地域の皆さんに支えられてきた。統合しても、地域とのかかわりを大切にしたいです。



高橋勝男たかはし・かつお
閉校記念事業実行委員長

私も田河津小の出身。閉校は寂しいです。学校があるということは、子供たちの笑い声や笑顔があるということ。地域にとっては、パワースポットのようなものです。子供たちの教育環境を考えれば、統合は仕方がないこと。互いに切磋琢磨しながら、成長してほしい。



琵琶坂公一びわさか・こういち
32代校長

松川小最後の校長を務めることができ栄光です。松川地区は、素晴らしい地域。松川小の教育は、地域の皆さんの協力のたまものです。心から感謝しています。児童たちは東山小でも、何事にも臆することなく挑戦し、成長してくれると信じています。

●校長・琵琶坂公一／●児童数・98人／●所在地・松川字中通42／●創立・明治6年／●教育目標・自ら学ぶ子ども 思いやりがある子ども たくましく健康な子ども



石崎望羽いしざき・みう
児童会長

141年もの歴史ある松川小がなくなってしまうのは寂しいです。後輩たちには、東山小でもあいさつ運動などの伝統をしっかり受け継いでほしいと思います。たくさん新しい仲間と一緒に、明るい東山小をつくってください。私たち、卒業生も応援します。



細川幸久ほそかわ・ゆきひさ
PTA会長

無事に閉校式を迎えられて安心しました。寂しい気持ちもありますが、子供たちには新しい学校でみんなと仲良くして頑張してほしい。「統合してよかった」と思えるよう、みんなと一緒でいい学校をつくっていききたい。今後も、学校と地域の皆さんと協力しながら、応援します。



高橋圭たかはし・けい
閉校記念事業実行委員長

今日まで、実行委員の皆さんが一生懸命携わってくれました。実行委員をはじめ、出席した地域の皆さんに「いい閉校式だった」と感じてもらえたらうれしいです。統合しても、松川小と同じように、地域とのつながりの強い、愛着のある学校になってほしいです。

鮮やかな学びやの思い出と はぐくんだ自信と誇り胸に

机を並べて勉強した教室。夢中になって遊んだ校庭。いろいろな世界へ連れていってくれた図書室。地域の皆さんの笑顔に会える通学路。懐かしく愛おしい思い出は、いつも学びやと共にありました。

鈴木 功

Suzuki Iso



●市教育委員会委員長

急速な少子化の進行に伴い、学校規模の適正化は重要な課題の一つとなっています。地域活動の中心的役割を果たし、心のよりどころになってきた学校がなくなることは、地域の皆さんにとって苦渋の決断だったと察します。輝かしい実績と伝統を有する学校は、3月をもってその長い歴史に幕を閉じることになりました。しかし、統合しても、長年培われてきた伝統と歴史は失われることなく、継承しながら新しい一歩を踏み出してほしいと願っています。未来を担う子供たちが、未来に向かって力強く羽ばたく力を身につけられるよう、学校教育に取り組みます。

Messages For Children

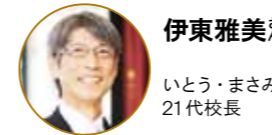
勝部 修

Kasube Osamu



●市長

急激に進む少子高齢化の中で、子供たちの教育環境の維持・向上に努めてきました。地域の皆さんの教育に対する熱意、長年にわたった支援が後押しし、それぞれの地域の特色に合った教育が行われた結果、素晴らしい伝統や歴史、そして、その成果を残すことができました。3月に長い歴史の幕を閉じることになった猿沢中、長坂小、田河津小、松川小。閉校しても、その歴史は絶えることなく、新しい学校に引き継がれます。新しい学校に通う皆さん、卒業証書を受け取った皆さん、それぞれの学校で学んだことに自信と誇りを持ち、思い出を胸に、勉強や部活動に励んでください。



伊東雅美いとう・まさみ
21代校長

4月に赴任し、閉校を知りました。今年はすべてが「最後」になる年。全校が一丸となり、一つ一つのことにプライドを持って一生懸命取り組みました。「自分たちでやりきった」という思いが大切。本当に自慢の生徒達です。

●校長・伊東雅美／●生徒数・44人／●所在地・大東町猿沢字上ノ洞22／●創立・昭和22年／●教育目標・自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成



菊地洸太きくち・こうた
生徒会長

閉校は、新しい生活を始めるはじめです。「猿中プライド」はみんなで作った。猿中の最後の1年を、プライドを持って臨んで成功させようと考えた抱負です。4月からはそれぞれの新しい環境で猿中の誇りを持って頑張してほしい。



菊地誠徳きくち・せいとく
PTA会長

私も3776人卒業生の一人。子供たちの教育環境を考え、PTAや地域の協力があったからこそやってこれた。地域との行事で文化の伝承や普及も担ってきた。子供たちには新しいステージで、猿沢の良さを引き継いで頑張ってもらいたい。



藤原良一ふじわら・りょういち
閉校記念事業実行委員長

67年の歴史に幕を閉じるのは寂しいこと。ただ、子供たちの教育を考えれば、致し方ないことだとも思う。そう遠くない未来にはILC誘致などもあるだろう。世界で活躍するような卒業生が出てきてくれることを祈っている。